

雨水処理移送ホースからの漏えいについて

2018年3月1日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 事象概要

TEPCO

◆ 事象概要

- 2018年2月8日、雨水処理のため中継タンク(A)→モバイルRO膜装置受入タンク(B)に移送を行った際に、現場で異常音を確認したため移送を停止。
- 現場確認を行った結果、移送用耐圧ホース（以下ホースという）の連結部が外れ、移送水が堰外へ漏えいしていることを作業員が発見。
- 漏えいした水は、漏えい箇所付近の側溝に流れて土のうによりせき止められ、側溝内に溜まっており排水路には流れ込んでいない。
- 移送ポンプ停止及びホース隔離により漏えいは停止。
- 側溝内に溜まった漏えいした水については回収済み。
- 漏えい部近傍のサーベイ結果 3.0 μ Sv/h（B. G相当）
- 漏えい量・漏えい水の分析結果
 - ✓ 漏えい量：4.8m³
 - ✓ Cs-134：ND（4.4Bq/L）
 - ✓ Cs-137：ND（4.4Bq/L）
 - ✓ 全ベータ：1.1 $\times 10^3$ Bq/L

◆ 時系列

平成30年2月8日（木）

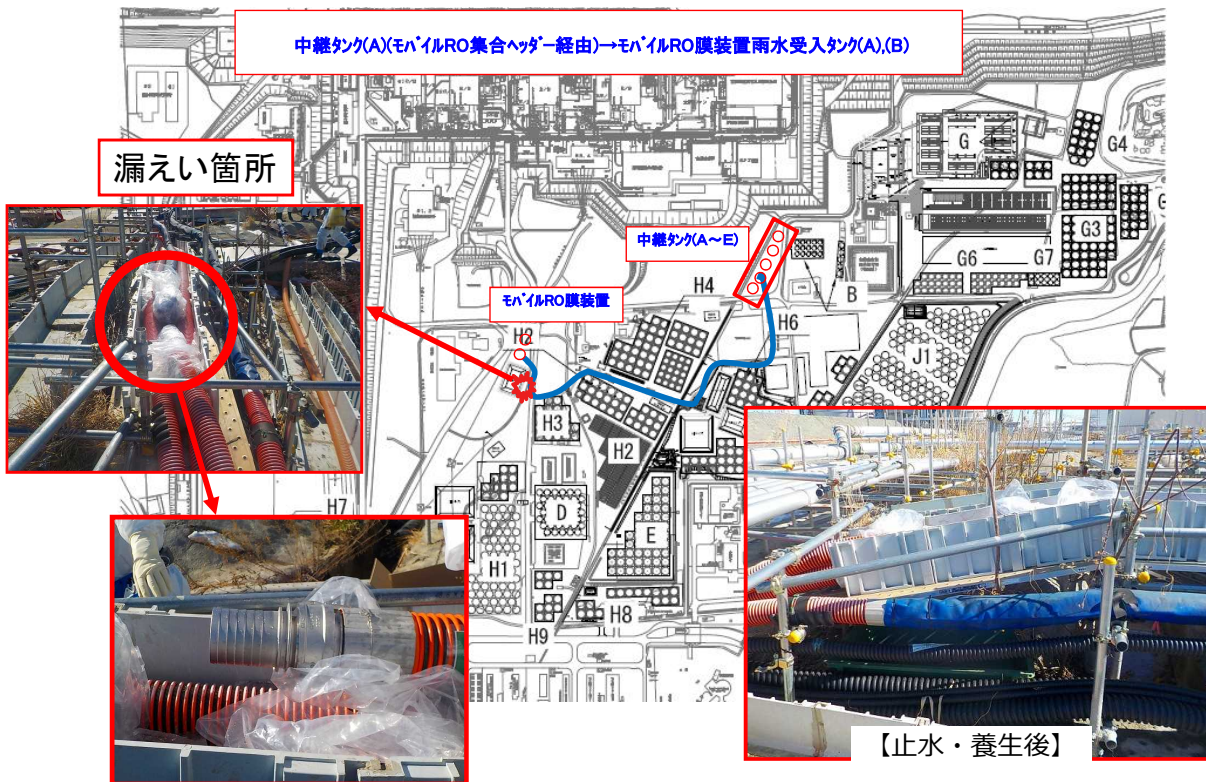
- 10:10 中継タンク(A)→モバイルRO受入タンク(B)間の移送前ラインチェックおよび移送対象弁「開」操作実施
- 10:37 移送開始
- 10:38 移送直後、現場作業員が異常音を確認、移送ポンプ停止、移送対象弁全閉
- 10:42頃 異常発生場所の移送ラインを点検した結果、漏えいを発見
復旧班長に耐圧ホースより漏えいある事を連絡
- 10:50 漏えい部の受け養生設置（受けパン設置）
- 13:45～14:15 側溝内の漏えいした水の回収を実施（バキューム車にて回収）

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

◆漏えい箇所

■ 当該雨水移送ライン



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

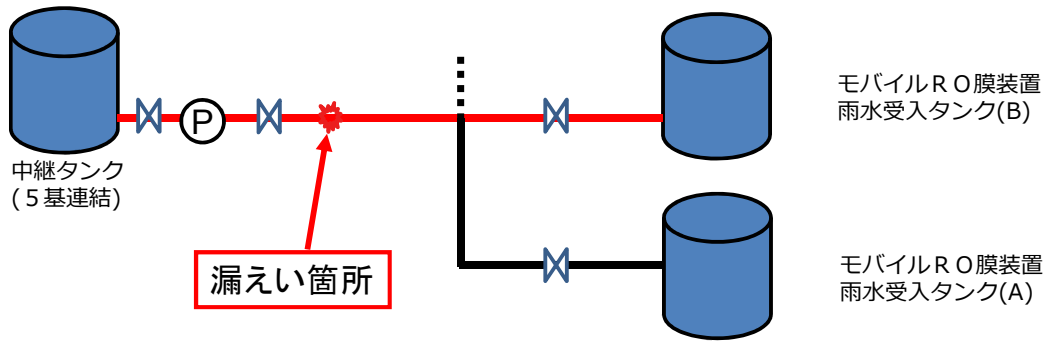
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2. 今後の対応

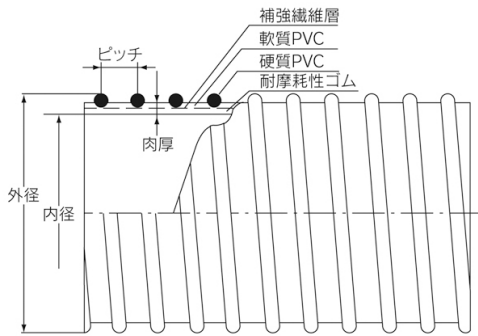
- ◆ 当該耐圧ホースの交換
 - 加締め部が外れた耐圧ホースについて新品と交換を実施する。(約1 km)
- ◆ 雨水移送設備耐圧ホースの総点検
 - 既設耐圧ホースの外観目視点検を実施する。
- ◆ 原因調査について
 - 何らかの原因で耐圧ホース加締め部が外れ漏えいに至ったことから、引き続き原因調査を行っていく。

以上

【系統概要】



【耐圧ホース仕様】



| 内径 (mm) | 外径 (mm) | 肉厚 (mm) | ピッチ (mm) | 標準質量 (g/m) | 許容圧力常温 (MPa) |
|---------|---------|---------|----------|------------|--------------|
| 101.6 | 129.0 | 5.9 | 17.0 | 4,520 | 1.00 |